

岡大バイオバンクに試料・情報を提供いただいた研究対象者の方へ

研究課題名	「新薬創出を加速する人工知能の開発」事業におけるオミックスデータの取得
研究責任者	夏目やよい(AI健康・医薬研究センター)
共同研究機関	共同研究機関はない。 ただし、大阪大学へトランスクリプトーム解析を依頼する。
本研究の目的	たんぱく質や遺伝子の発現解析を行う。これらデータはAI技術を用いて、再発、合併、予後を予測する因子を見出し、その結果を診断や治療に役立てる。
研究期間	承認日(2018年3月9日)より2028年3月31日まで
提供を受ける試料および情報	岡山大学バイオバンクで「岡山大学病院バイオバンク事業」に関する説明を受け、医学研究のための試料保管について同意いただいて保管されている試料・情報のうち、下記に当たるもの。 試料：肺がん組織の凍結およびRNAlater標本(腫瘍部と正常部ペア)、血漿 情報：患者基本情報(年齢、性別、合併症、喫煙歴)および癌腫情報(非小細胞肺がんと小細胞肺がんの区別、非小細胞肺がんでは、腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんの分類)
研究方法	タンパク質は最新プロテオミクスの技術を用いて医薬基盤研にて、遺伝子は、大阪大学に委託し、いずれも網羅的に測定する。 データは、医薬基盤研にてAIに入力し、特徴的な分子を見出す。また、サンプルとともに入手する臨床データ(肺がんの分類、年齢、性別、喫煙歴、合併症等の情報)との関連性の解析も行う。
試料および情報の提供の有無	大阪大学へ試料・情報を提供しトランスクリプトーム解析を依頼するが、それ以外の他の機関への試料および情報の提供はない。
個人情報の取り扱い	岡山大学バイオバンクにおいて、研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく研究用のIDをつけて、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にする。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、研究対象者とIDを結び付けることができるように対応表を残す。対応表は、岡山大学バイオバンクのコンピュータ内にて厳重に管理し、分譲先や共同研究先には一切提供されない。

研究成果の公表	本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表する。公表の際には個人が特定されないことがないよう、十分配慮する。
お問い合わせ先	医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター 担当者：夏目やよい 住所：〒566-0002大阪府摂津市千里丘新町3-17 健都イノベーションパークNKビル3F 電話番号：06-6384-1587